

	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)		
事業名	将来の在り方・生き方を主体的に考えられる若者を育むキャリア教育推進事業			担当部局庁	初等中等教育局		作成責任者	
事業開始年度	平成26年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	児童生徒課		児童生徒課長 伊藤 史恵	
会計区分	一般会計							
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	－			関係する 計画、通知等	○「第3期教育振興基本計画」(平成30年6月15日閣議決定) ○中教審「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方につ いて(答申)」平成23年1月			
政策	2 確かな学力の向上、豊かな心と健やかな体の育成と信頼される学校づくり			主要経費	教育振興助成費			
施策	2-2 豊かな心の育成							
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20221215-mxt_kanseisk01-000026547-08.pdf							
事業の目的 (5行程度以内)	学習指導要領(平成29年3月・平成30年3月公示)や中教審「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について(答申)」、「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について(答申)」等を踏まえ、学校の教育活動全体を通じて、児童生徒一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育成する必要があり、学校と地域・産業界との連携を深め、小学校からの起業体験活動や中学校の職場体験活動、高等学校のインターンシップ等を促進し、発達段階に応じた体系的なキャリア教育を推進することを目的とする。							
現状・課題 (5行程度以内)	新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、中学校の職場体験活動や高等学校のインターンシップなどの体験活動の実施が難しい状況が続き、キャリア教育を推進するうえで欠かせない体験活動の実施が難しい状況にあった。 【中学校 R1:97.9%、R2:調査中止、R3:28.5%】【高等学校 R1:85.0%、R2:調査中止、R3:52.9%】(国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センター 職場体験・インターンシップ実施状況等結果)							
事業概要 (5行程度以内)	学校におけるキャリア教育のより一層の充実が求められている中、(1)優れた取組の表彰やシンポジウムの開催等によるキャリア教育の普及・啓発、(2)チャレンジ精神や実行力等の起業家精神等を養うための学校における起業体験の推進、(3)職場体験・インターンシップの受入れ先の拡大や地元産業に関する理解を深めるための専門人材の都道府県教育委員会等に配置(「学校を核とした地域力強化プラン」の一部として計上)等を実施することとしており、これらの事業を通じて、学校と地域・産業界等との連携を促進し、児童生徒一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な能力や態度を培い、自ら勤労観・職業観を形成していけるようキャリア教育を推進する。							
事業概要URL	https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/career/detail/1374260.htm							
実施方法	直接実施、委託・請負							
補助率等	－							
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求	
	予算の 状況	当初予算(A)	21	12	12	10	13	
		補正予算(B)	－	－	－	－		
						－		
						－		
						－		
						－		
						－		
		前年度から繰越し(C)	－	－	－	－	－	
		翌年度へ繰越し(D)	－	－	－	－		
		予備費等(E)	－	－	－	－		
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	21	12	12	10	13		
	執行額(G)		1	10	10			
	執行率(%) =(G)/(F)		5%	83%	83%			
当初予算＋補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		5%	83%	83%				
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)			
	(項)		初等中等教育振興費		－			
	(目)		初等中等教育振興事業委託費	8				11
	(目)		教職員研修費	1				1
	(目)		委員等旅費	0				0
	(目)		諸謝金	0				0
	(目)		職員旅費	0				0
	(目)		その他	0				0
	計(A)		10	13				

活動内容① (アクティビティ)		これからの時代を生き抜くために誰もが必要な資質・能力を小学校段階から育成することを目指し、各都道府県・政令指定都市教育委員会を事業の対象とし、学校と地域・産業界等と連携した起業体験活動を実施する。また、教育委員会等にキャリアプランニングスーパーバイザーを配置し、地元への愛着を深めるキャリア教育等を通じ、地元就職し地域を担う人材の育成を図る。								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		各自治体が、学校と地域・産業界等と連携し、キャリア教育の推進体制をより一層整備している。	中学校における職場体験活動の実施率	活動実績	%	－	28.5	－	－	－
				当初見込み	%	－	－	28.5	28.5	－
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	職場体験活動により、生徒は学びと将来の生活や社会、職業との関連を意識し、それにより、将来の夢や目標をもつことにつながると考えられるため。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 5 年度	
		「将来の夢や目標を持っている」という質問に対し、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した生徒の割合について、前回調査値を上回る。	「将来の夢や目標を持っていますか」という質問に対し、「1.当てはまる」「2.どちらかといえば、当てはまる」と回答した中学生の割合 ((1+2)/回答した生徒数)*100	成果実績	%	－	68.6	67.4	－	
				目標値	%	－	70.5	68.6	67.4	
				達成度	%	－	97.3	98.3	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		全国学力・学習状況調査(中学校) ※令和2年度は、「全国学力・学習状況調査」が中止となったため、成果実績等を示すことができない。								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		－								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		キャリア教育は、学校の教育活動全体を通して行われるものであり、職場体験活動などを含めた学びと、将来の生活や社会、職業との関連を意識する中で、生徒は将来の夢や目標をもつと考えられるため、段階的なアウトカムを設定することが難しい。								

活動内容② (アクティビティ)		これからの時代を生き抜くために誰もが必要な資質・能力を小学校段階から育成することを目指し、各都道府県・政令指定都市教育委員会を事業の対象とし、学校と地域・産業界等と連携した起業体験活動を実施する。また、教育委員会等にキャリアプランニングスーパーバイザーを配置し、地元への愛着を深めるキャリア教育等を通じ、地元就職し地域を担う人材の育成を図る。								
↓										
活動目標及び活動実績② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		各自自治体が、学校と地域・産業界等と連携し、キャリア教育の推進体制をより一層整備している。	高等学校におけるインターンシップの実施率	活動実績	%	-	52.9	-	-	-
				当初見込み	%	88.2	-	52.9	-	-
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	インターンシップにより、生徒は学びと将来の生活や社会、職業との関連を意識し、それにより、将来の夢や目標をもつことにつながると考えられるため。								
成果目標及び成果実績②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 5 年度	
		「自分の進路選択について考えているか」という質問に対し、「かなり考えている」「ある程度考えている」と回答した生徒の割合について、前回調査値を上回る。	「自分の進路選択について考えているか」という質問に対し、「1.かなり考えている」「2.ある程度考えている」と回答した高校生の割合((1+2)/回答した高校生の総数)100)	成果実績	%	-	81.4	-	-	
				目標値	%	-	81.7	81.4	81.4	
				達成度	%	-	99.6	-	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		高校生と保護者の進路に関する意識調査 ※民間企業による隔年調査のため令和2年度、令和4年度の成果実績等を示すことができない。								
アウトカム設定についての説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由								
		キャリア教育は、学校の教育活動全体を通して行われるものであり、インターンシップなどを含めた学びと、将来の生活や社会、職業との関連を意識する中で、生徒は自分の進路について考えると考えられるため、段階的なアウトカムを設定することが難しい。								

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位：百万円)



